

【概要】

- 3月20日、午後5時4分、「逆浸透膜処理ユニット3異常」警報（代表警報）が発生したことから、警報が発生した原因調査を行ったところ、昨日（3月21日）午後0時15分、既設淡水化装置のウルトラフィルタ（以下「UF」※1）用空気圧縮機（以下「当該機器」※2）が運転できないことを確認し、同日午後0時30分、既設淡水化装置の運転状態を「待機」から「非待機」と判断したことに伴い、淡水化装置の運用が停止となりました。
- その後、当該機器について原因調査を行ったところ、機器異常等が確認されなかったことから、再起動を実施したところ、正常に動作すること、およびその後の運転状態についても問題がないことを、本日（3月22日）午後1時20分に確認しました。
- なお、既設淡水化装置において、水漏れ等の問題がなかったことを確認しています。
- また、原子炉へ注水するための水源については、淡水化装置処理水タンクに貯留している淡水があることから、直ちに影響がでないことを確認しています。また、建屋内淡水化装置（A）について、本年（2021年）3月9日に使用前検査が終了しており、今後、使用許可が得られた後、供用することが可能な状態です。
- 引き続き、既設淡水化装置の運転状態について確認を行うとともに、原因を調査し、原因が分かり次第、適切に再発防止対策を講じてまいります。

※1 ウルトラフィルタ（UF）

既設淡水化装置による淡水化処理（塩分除去）を行う前に、ゴミ等の不純物を除去するために設置している前処理用のフィルタ

※2 UF用空気圧縮機

UFの前後に付いている空気駆動弁を開閉するための空気を空気駆動弁に送るための機械

【参考】既設淡水化装置 系統イメージ図

